

令和元年度  
「市民活動や協働によるまちづくりに関する意識調査」  
(インターネット)  
報告書

令和2年3月  
市民局市民協働推進課

## 1 調査目的

仙台市では、平成 27 年 7 月に「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」を施行し、市民活動を行いやすくする環境づくりや、さまざまなまちづくりに携わる団体（地域団体や市民活動団体、学校、企業、行政）等が連携、協力して活動に取り組めるよう、各種事業を進めてきた。今後市民活動や協働によるまちづくりをよりいっそう進めていくために、現状及び課題の把握を目的として調査を実施した。

## 2 調査対象

制限なし

## 3 調査時期

令和 2 年 1 月

## 4 調査実施方法

インターネットによる無記名式調査

## 5 回収結果

有効回答数 102 名

## 6 集計結果の留意事項

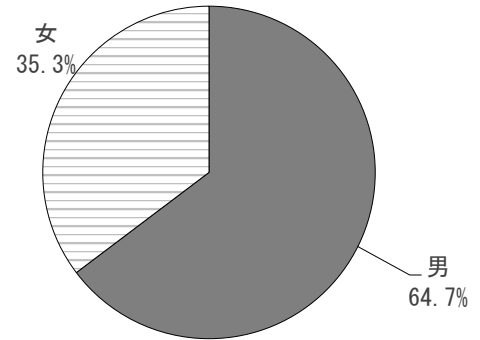
- ・四捨五入を行っているため、回答割合の合計が 100%になっていない設問がある。
- ・複数の選択肢を選択する問の回答割合は、回答数を有効回答者数で除したものとしている。

## 7 調査結果

### <回答者の属性>

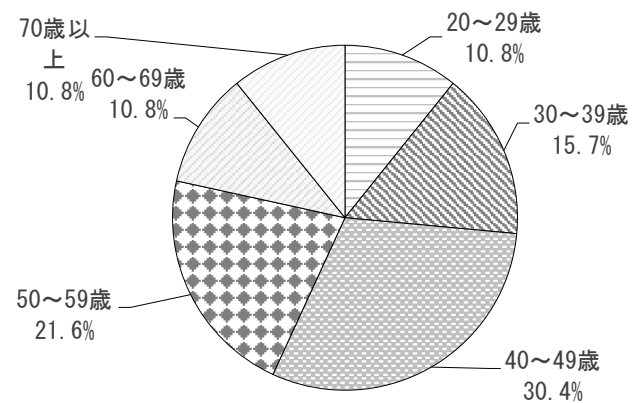
#### 問1 あなたの性別を教えてください (n=102)

選択肢	回答数	割合
男	66	64.7%
女	36	35.3%
合計	102	100.0%



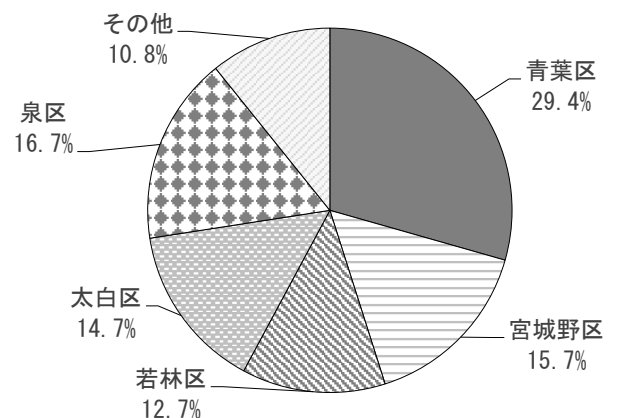
#### 問2 あなたの年齢区分を教えてください (n=102)

選択肢	回答数	割合
19歳以下	0	0.0%
20～29歳	11	10.8%
30～39歳	16	15.7%
40～49歳	31	30.4%
50～59歳	22	21.6%
60～69歳	11	10.8%
70歳以上	11	10.8%
合計	102	100.0%



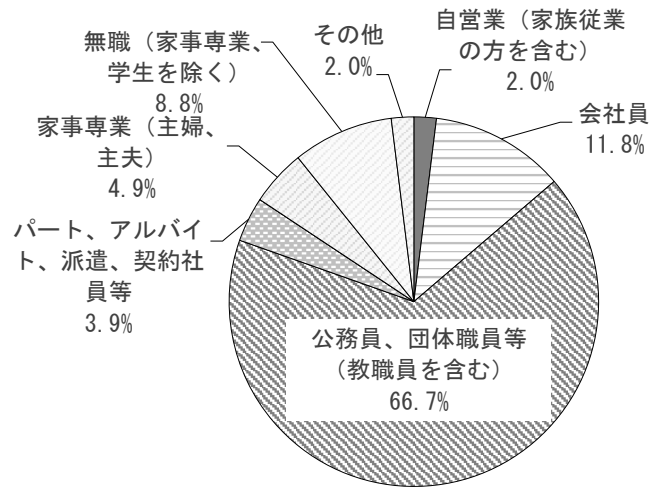
#### 問3 あなたがお住まいの区を教えてください (n=102)

選択肢	回答数	割合
青葉区	30	29.4%
宮城野区	16	15.7%
若林区	13	12.7%
太白区	15	14.7%
泉区	17	16.7%
その他	11	10.8%
合計	102	100.0%



問4 あなたの職業を教えてください (n=102)

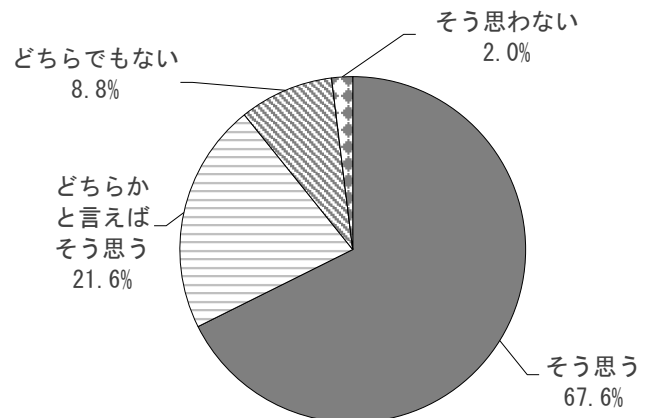
選択肢	回答数	割合
自営業(家族従業の方を含む)	2	2.0%
会社員	12	11.8%
公務員、団体職員等(教職員を含む)	68	66.7%
パート、アルバイト、派遣、契約社員等	4	3.9%
学生	0	0.0%
家事専業(主婦、主夫)	5	4.9%
無職(家事専業、学生を除く)	9	8.8%
その他	2	2.0%
合計	102	100.0%



<設問回答>

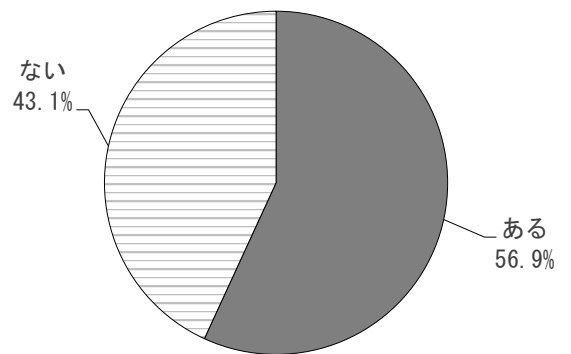
問5 あなたは、本市のまちづくりにとって、市民活動が重要だと思いますか。該当する番号を1つ選択し、○をつけてください。(n=102)

選択肢	回答数	割合
そう思う	69	67.6%
どちらかと言えばそう思う	22	21.6%
どちらでもない	9	8.8%
どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
そう思わない	2	2.0%
合計	102	100.0%



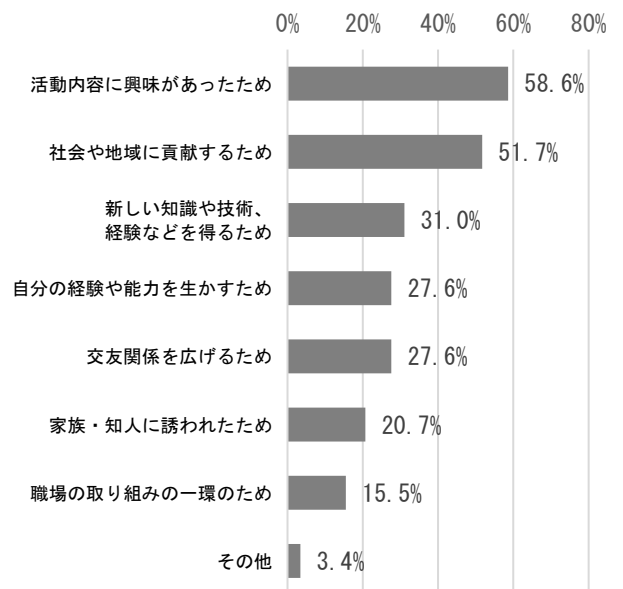
問6 あなたは、市民活動に参加したことがありますか。該当する番号を1つ選択し、○をつけてください。(n=102)

選択肢	回答数	割合
ある	58	56.9%
ない	44	43.1%
合計	102	100.0%



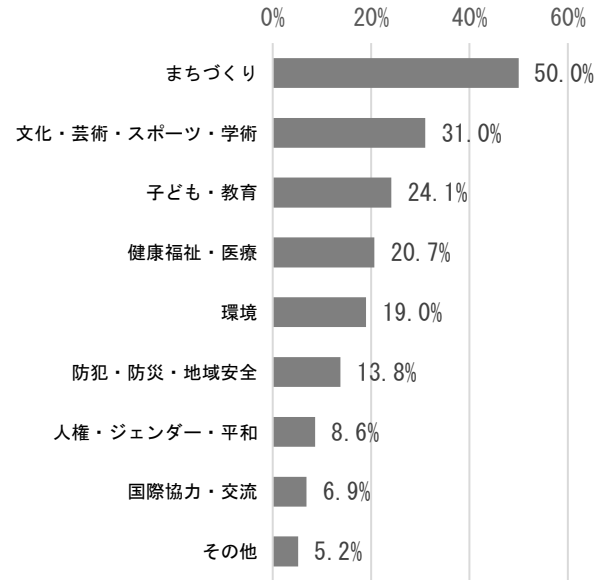
問7-1 問6で「1 ある」と答えた方に伺います。その活動に参加したきっかけは何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。(n=58)

選択肢	回答数	割合
活動内容に興味があったため	34	58.6%
社会や地域に貢献するため	30	51.7%
新しい知識や技術、経験などを得るため	18	31.0%
自分の経験や能力を生かすため	16	27.6%
交友関係を広げるため	16	27.6%
家族・知人に誘われたため	12	20.7%
職場の取り組みの一環のため	9	15.5%
その他	2	3.4%



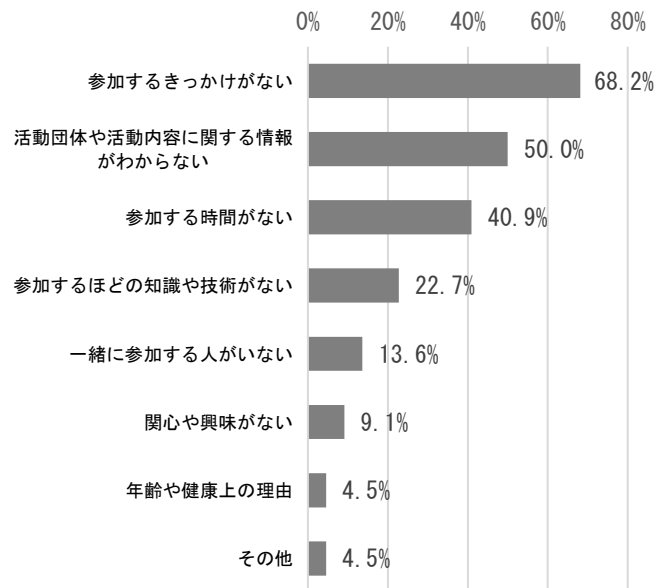
問7-2 その活動の分野は何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。(n=58)

選択肢	回答数	割合
まちづくり	29	50.0%
文化・芸術・スポーツ・学術	18	31.0%
子ども・教育	14	24.1%
健康福祉・医療	12	20.7%
環境	11	19.0%
防犯・防災・地域安全	8	13.8%
人権・ジェンダー・平和	5	8.6%
国際協力・交流	4	6.9%
その他	3	5.2%



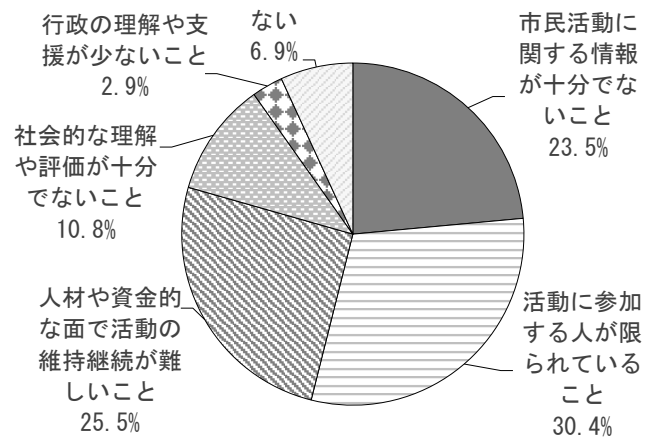
問8 問6で「2 ない」と答えた方に伺います。参加したことがない理由は何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。(n=44)

選択肢	回答数	割合
参加するきっかけがない	30	68.2%
活動団体や活動内容に関する情報がわからない	22	50.0%
参加する時間がない	18	40.9%
参加するほどの知識や技術がない	10	22.7%
一緒に参加する人がいない	6	13.6%
関心や興味がない	4	9.1%
年齢や健康上の理由	2	4.5%
その他	2	4.5%



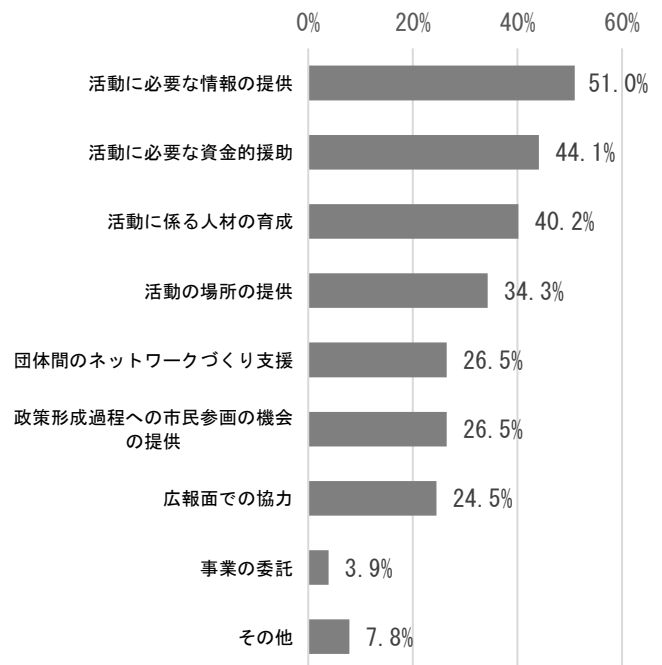
問9 現在、市民活動を進めるにあたり課題があるとすれば、どのようなことだと思いますか。  
該当する番号を1つ選択し、○をつけてください。(n=102)

選択肢	回答数	割合
市民活動に関する情報が十分でないこと	24	23.5%
活動に参加する人が限られていること	31	30.4%
人材や資金的な面で活動の維持継続が難しいこと	26	25.5%
社会的な理解や評価が十分でないこと	11	10.8%
行政の理解や支援が少ないこと	3	2.9%
ない	7	6.9%
合計	102	100.0%



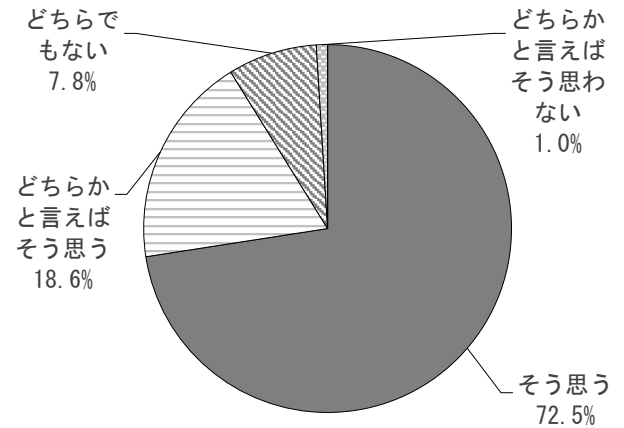
問10 あなたが市民活動を行っているか、または行おうとする場合、どのような支援が必要だと思いますか。該当する番号を3つまで選択し、○をつけてください。(n=102)

選択肢	回答数	割合
活動に必要な情報の提供	52	51.0%
活動に必要な資金的援助	45	44.1%
活動に係る人材の育成	41	40.2%
活動の場所の提供	35	34.3%
団体間のネットワークづくり支援	27	26.5%
政策形成過程への市民参画の機会の提供	27	26.5%
広報面での協力	25	24.5%
事業の委託	4	3.9%
その他	8	7.8%



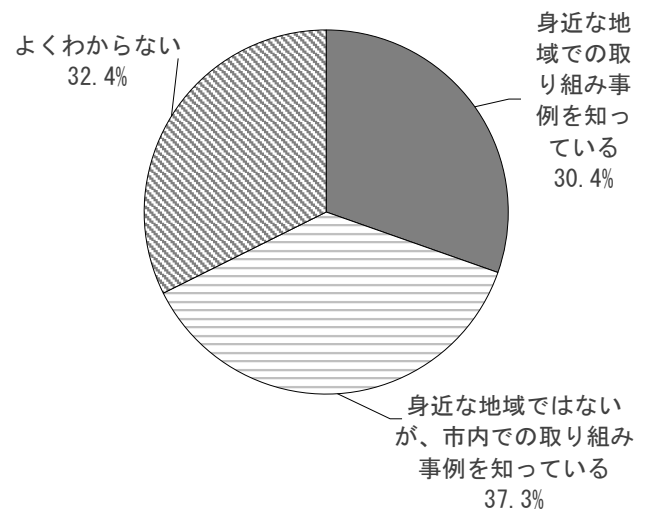
問 11 あなたは、本市のまちづくりにとって、地域団体（町内会等）や市民活動団体、学校、企業、行政等が連携・協力して取り組むことが重要だと思いますか。該当する番号を1つ選択し、○をつけてください。(n=102)

選択肢	回答数	割合
そう思う	74	72.5%
どちらかと言えばそう思う	19	18.6%
どちらでもない	8	7.8%
どちらかと言えばそう思わない	1	1.0%
そう思わない	0	0.0%
合計	102	100.0%



問 12 あなたは、さまざまな団体が連携・協力してまちづくり活動に取り組んでいる事例を知っていますか。該当する番号を1つ選択し、○をつけてください。(n=102)

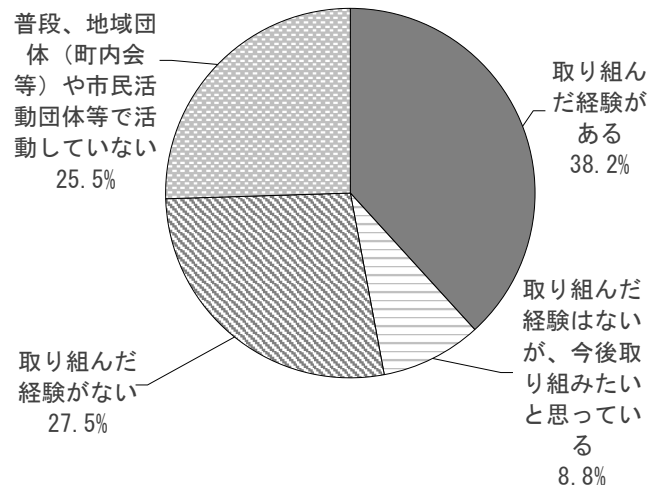
選択肢	回答数	割合
身近な地域での取り組み事例を知っている	31	30.4%
身近な地域ではないが、市内での取り組み事例を知っている	38	37.3%
よくわからない	33	32.4%
合計	102	100.0%





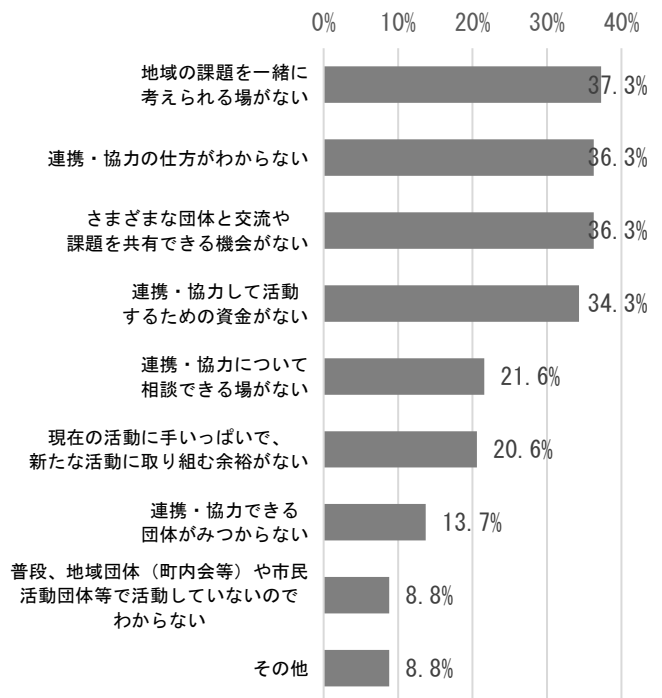
問 13 あなたは、地域団体（町内会等）や市民活動団体等の活動で、他の団体（地域団体や市民活動団体、学校、企業、行政等）と連携・協力して取り組んだ経験がありますか。該当する番号を1つ選択し、○をつけてください。（n=102）

選択肢	回答数	割合
取り組んだ経験がある	39	38.2%
取り組んだ経験はないが、今後取り組みたいと思っている	9	8.8%
取り組んだ経験がない	28	27.5%
普段、地域団体（町内会等）や市民活動団体等で活動していない	26	25.5%
合計	102	100.0%



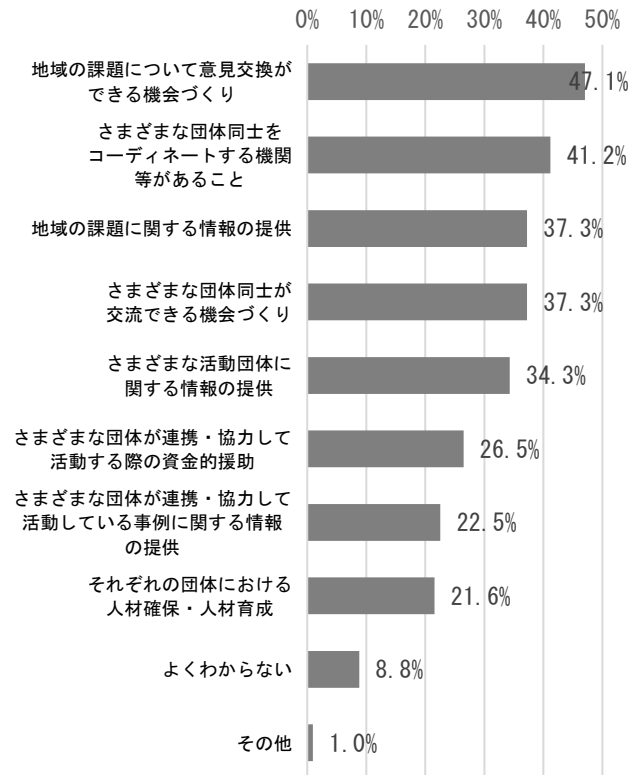
問 14 あなたは、さまざまな団体同士が連携・協力を進めていくうえで、課題と感ずることはありますか。該当する番号すべてに○をつけてください。（n=102）

選択肢	回答数	割合
地域の課題を一緒に考えられる場がない	38	37.3%
連携・協力の仕方がわからない	37	36.3%
さまざまな団体と交流や課題を共有できる機会がない	37	36.3%
連携・協力して活動するための資金がない	35	34.3%
連携・協力について相談できる場がない	22	21.6%
現在の活動に手いっぱい、新たな活動に取り組む余裕がない	21	20.6%
連携・協力できる団体が見つからない	14	13.7%
普段、地域団体（町内会等）や市民活動団体等で活動していないのでわからない	9	8.8%
その他	9	8.8%



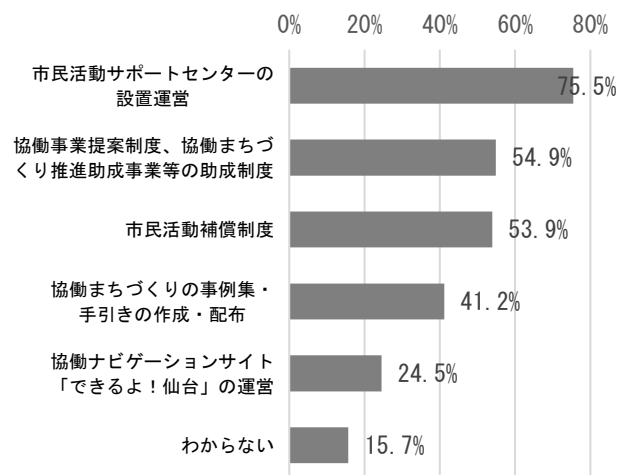
問 15 あなたは、地域の課題解決のため、さまざまな団体が連携・協力して活動していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。該当する番号を3つまで選択し、○をつけてください。(n=102)

選択肢	回答数	割合
地域の課題について意見交換ができる機会づくり	48	47.1%
さまざまな団体同士をコーディネートする機関等があること	42	41.2%
地域の課題に関する情報の提供	38	37.3%
さまざまな団体同士が交流できる機会づくり	38	37.3%
さまざまな活動団体に関する情報の提供	35	34.3%
さまざまな団体が連携・協力して活動する際の資金的援助	27	26.5%
さまざまな団体が連携・協力して活動している事例に関する情報の提供	23	22.5%
それぞれの団体における人材確保・人材育成	22	21.6%
よくわからない	9	8.8%
その他	1	1.0%



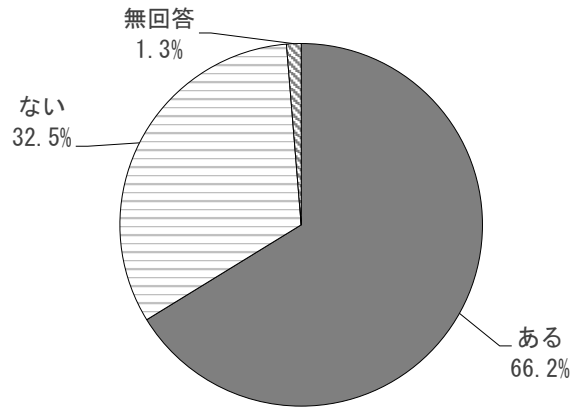
問 16 仙台市では、市民活動や協働によるまちづくりを支援するために次のような事業を実施しています。あなたが知っている事業すべてに○をつけてください。(n=102)

選択肢	回答数	割合
市民活動サポートセンターの設置運営	77	75.5%
協働事業提案制度、協働まちづくり推進助成事業等の助成制度	56	54.9%
市民活動補償制度	55	53.9%
協働まちづくりの事例集・手引きの作成・配布	42	41.2%
協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」の運営	25	24.5%
わからない	16	15.7%



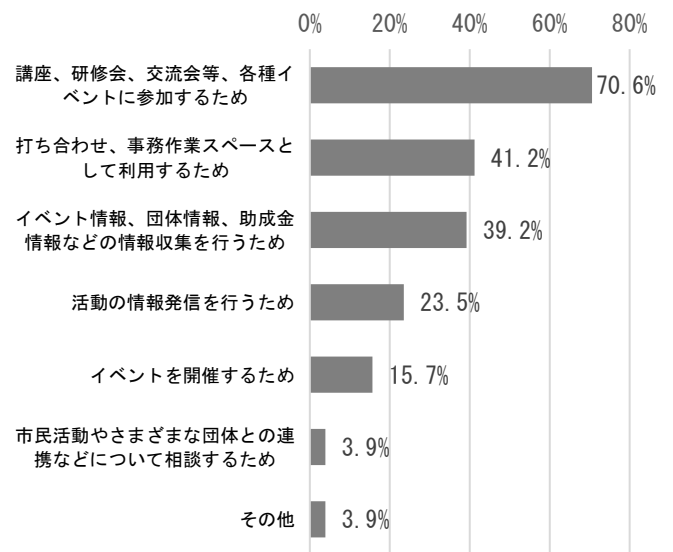
問 17 問 16 で「3 市民活動サポートセンター」を知っていると答えた方に伺います。あなたは、市民活動サポートセンターを利用したことがありますか。該当する番号を1つ選択し、○をつけてください。(n=77)

選択肢	回答数	割合
ある	51	66.2%
ない	25	32.5%
無回答	1	1.3%
合計	77	100.0%



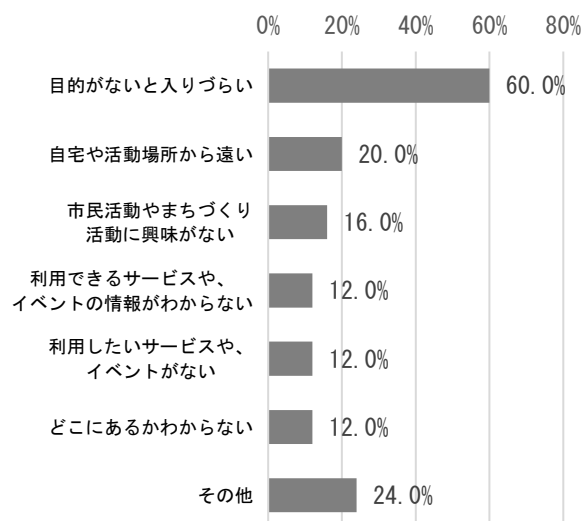
問 18 問 17 で「1 ある」と答えた方に伺います。市民活動サポートセンターを利用した理由は何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。(n=51)

選択肢	回答数	割合
講座、研修会、交流会等、各種イベントに参加するため	36	70.6%
打ち合わせ、事務作業スペースとして利用するため	21	41.2%
イベント情報、団体情報、助成金情報などの情報収集を行うため	20	39.2%
活動の情報発信を行うため	12	23.5%
イベントを開催するため	8	15.7%
市民活動やさまざまな団体との連携などについて相談するため	2	3.9%
その他	2	3.9%



問 19 問 17 で「2 ない」と答えた方に伺います。市民活動サポートセンターを利用したことがない理由は何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。(n=25)

選択肢	回答数	割合
目的がないと入りづらい	15	60.0%
自宅や活動場所から遠い	5	20.0%
市民活動やまちづくり活動に興味がない	4	16.0%
利用できるサービスや、イベントの情報がわからない	3	12.0%
利用したいサービスや、イベントがない	3	12.0%
どこにあるかわからない	3	12.0%
その他	6	24.0%



問 20 仙台市の市民活動や協働によるまちづくりに関するご意見、ご提案がありましたらご記入ください。(n=102 ※回答数 24 件)

①全般に関するご意見・ご提案 7 件

- ・市民活動のすそ野がどんどん狭くなっているように感じます。特定の関心がある人だけが行うのではなく、自分の身の回りのことを、自分たちで考えて、行動を起こしていけるような、ゆるやかなネットワークが必要ではないかと思います。
- ・協働によるまちづくりは、住んでいる社会と自分自身の為である意識が必要と思います。その意識の涵養の具体策は、私にはありません。
- ・各団体の主義・主張が強く、互いを認め合う意識が高くないように感じています。双方が歩み寄る必要性、互いに高めあっていく関係性が必要だということを知る機会（研修等）があればいいと思います。
- ・「まちづくり」のテーマ設定とその資金集めが大変。そのチャンス（機会）を求めるためには相当エネルギーが必要（経験値から言えるが）で片手間（副業などで）では出来ない。どのような人材とテーマを掴むかが課題。
- ・地域スポーツの運営ボランティアを長く経験していますが、人材不足で公務員、自営業、退職された方など遠方への転勤がない職種・ライフスタイルの方の奪い合いのような状況です。そこに家庭での学校 PTA や町内会、子供会なども当番があり本当に余裕がありません。子育てという側面からも考える必要がある課題だと思います。

- ・ここまでのアンケート項目を見たかぎりですが、やみくもに「連携」「協力」と言っているように感じます。「協働」はそもそもまちづくりに必要ものなのではないでしょうか？ 息苦しさを感ずる戦時中の「隣組」的なものにならないような、風通しのよいフラットな仕組みづくりを望みます。
- ・市民活動への市民参加率が何割なのか分かりませんが、興味あるごく一部の人の活動になっていることは否めないとします。そのような「意識の高い人」が、往々にして、参加しない人を「意識が低い」と見下すため、ますます市民の断絶が大きくなるように感じます。

## ②情報提供に関するご意見・ご提案 5件

- ・圧倒的に情報不足である。一般の市民が何かの市民活動に関わろうと考えた際に、何からスタートしたら良いかわからない場合が多い。
- ・集合住宅だと町内会費を払わない住まいもあるので、そういった所でも気軽に情報を貰える場所が欲しいです。  
仙台市民である事には変わりはないのに、地域からも受け入れられていないように感じてしまいます。
- ・もう少し、市民活動についての情報発信がなされると、より参加しやすくなるように思います。
- ・情報が少なく、詳しくないと思う。市政だより等では詳細に説明をするべきで、年配者が興味を持てる雰囲気造りを求めます。
- ・仙台市の市民活動の活発さは全国的にも有名と言われておりますが、実際に活動に参加してみると、活動をしている人が限られていたり、資金面で厳しい状況があったりと課題が多いように思います。また、活動についてPRできる場も少ないように感じておりますので、もっともっと市民の皆さんに広く活動を知っていただく場を提供していただければと思います。

## ③市政へのご意見・ご提案 5件

- ・市民活動補償制度に対象とならない分野がある（人権、男女共同参画など）ので、どんな分野でも対象となると助かります。
- ・地に足がついておらず、市役所全体で本気になって取り組んでいるとは思えない。仙台駅東口前を公園にするなどと言っているようでは、これから先が思いやられる。仙台市の実情を把握することが先決なのでは？
- ・まちづくりの定義とその目的が不明確なまま、雰囲気だけで色々と手を出しているとしか感じられない。基本的に、やりたい人が勝手にやればよく、行政は場所と情報の提供くらいで充分と考える。
- ・市長が力を入れている重点分野にも関わらず、財政局の理解が不十分なため、市民活動の推進に仙台市は冷淡な印象が否めない。市長公約分野なので、財政局をもっと教育するべきである。
- ・まちづくりに関する部署がたくさんあり、どこの部署がどの範囲なのかよくわからない。都市整備局にもまち局にもある。また、市民協働と公民連携も色々な部署にあるので、それらの明確な分けを知りたい。

#### ④活動への参加について 3件

- ・政令指定都市なのに、盲人信号機の不備や道路表示のかすれ、消滅などの未修正など、道路に関する不満が日々絶えない。  
歩道路面の凸凹や穴、敷材の乱れなども。見かければ通報しているが、市としては言われるまで放っておくのがルールなのだろうか？盲人信号機の役割がなされていないのが悲しすぎる。  
一気にボランティアなどを募り、チェックをして補修していくべきではないのか。  
そういう活動のお手伝いがしたいと常日頃思っている。
- ・自分の年齢に合った市民活動はあるのか？
- ・興味があったとしても、身近にそうした活動をしている人がいないと参加するきっかけがない。(戻込みしてしまう)

#### ⑤その他のご意見・ご提案 4件

- ・町内会活動の担い手不足の観点から、地域の町内会活動に尽力している方と地元の企業をつなぐ機会創出が必要ではないか。  
また、活動の担い手を行政が認定するような仕組みもあると良いのではないか。
- ・よく日常、市民活動と称して「明らかに特定政党の色を感じる市民団体の行動」を見かけますが、余りに紛らわしいので、是非条例の中に「非政治活動」を明確にうたっていただきたいと思います。
- ・集合住宅内における個人情報の取り扱いが難しい。
- ・地熱エネルギーに関する勉強会に最近参加しました。エネ利用に関する法制化が先ですが、今すぐにもできそうな、夢のプランでした。そういった研究学会を開催できればよいのですが、資金面などで難しいこともあります。